

R7 (2025)年度 修士・博士論文

1	修論	荒井 響	介護従事者の高齢者に対する慈愛的偏見に関する態度調査
2	修論	石原 瞳	共感～利他性仮説の追試および、当仮説における想像性傾向の役割
3	修論	小澤 るの	議論場面における少数派の意見表明意図を規定する要因の検討
4	修論	平山 陽菜	日本における見知らぬ他者への援助行動の抑制要因の検討：多元的無知の観点から
5	修論	北 哲子	Subordinates' Beliefs About Benevolent Sexism in Leadership and Its Influence Perceived Promotion Bias ～部下による上司の慈愛的偏見への推論が、昇進判断の予測に与える影響～
6	修論	水口 真希	女性の世代間不公平の知覚が男女格差是正施策への賛否に及ぼす影響～大学入試における女性枠導入を題材に～
7	修論	渡邊 裕季乃	協力意図シグナルの自発利用パラダイムの開発：OFT 戦略による長期相互協力関係の構築
8	博論	工藤 泰幸	社会的ジレンマにおける協力行動の予測モデル～介入施策の意思決定支援に向けた構築とシステム実装～
9	博論	高橋 茉優	将来性への協力はいかにして可能か：構想的非対称性と時間的・認知的断絶に着目して
10	博論	森 隆太郎	参加と順序の自由を通じた社会的ジレンマの打開策

修士論文提出者 7名 / 博士論文提出者 3名 合計 10名